

法蔵館書店ニュース 5月

目次

話題の本	P1	特集1:信仰心篤い人々「妙好人」	P16~17
法蔵館新刊案内	P2~4	特集2:桜の季節が終わった京都もいいもんです	P18
法蔵館重版案内	P4	お知らせ	P19
法蔵館刊行予定案内	P5	法蔵館書店ベスト10	P20
法蔵館書店のおすすめ本	P6~15	メール配信サービスご案内	P20

★お知らせ★5、6月の書店休業日

5月のお休み:3~6日・11日・18日・25日

6月のお休み:1日・8日・15日・22日・29日

話題の本

●中外日報(2025/4/11)

大久保良峻先生古稀記念論集

『天台学と諸思想』

大久保良峻先生古稀記念論集刊行会編

A5判・830頁・14,300円・ISBN:978-4-8318-6400-0

●中外日報(2025/4/4)

『中論講義 上』

立川武蔵著・四六判・328頁・3,850円

ISBN:978-4-8318-2483-7

●ともしび(2025/4/1)

『生きものたちと仏教のはなし』

華園真慶著・四六判・112頁・1,430円

ISBN:978-4-8318-2460-8

●中外日報(2025/3/21)

『荷澤神會研究

一神會の生涯・著作・思想とその史的意義』

伊吹 敦著・A5判・624頁・13,200円

ISBN:978-4-8318-7785-7

●中外日報(2025/3/14)

『植民地朝鮮の予言と民衆宗教』

朴 海仙著・四六判・256頁・3,080円

ISBN:978-4-8318-5586-2

●下野新聞(2025/3/29)

●秋田魁新報(2025/3/14)

『読んで観て聴く 近代日本の仏教文化』

【大正大学総合仏教研究所叢書38】

森 寛・大澤絢子編・四六判・400頁・2,200円

ISBN:978-4-8318-5584-8

●中外日報(2025/3/7)

『仏教・イスラーム・キリスト教

一祈りと思想の共鳴』

【龍谷大学仏教文化研究叢書54】

嵩 満也・佐野東生編・A5判・352頁・4,400円

ISBN:978-4-8318-7789-5

●中外日報(2025/3/7)

『華嚴教学の形成と展開』

櫻井 唯著・A5判・484頁・8,800円

ISBN:978-4-8318-6399-7

●みずす書房 読者アンケート2024

識者が選んだ、この一年の本(2025/2/17)

法蔵館文庫

『死者の結婚―慰霊のフォークロア』

櫻井義秀著・文庫判・384頁・1,430円

ISBN:978-4-8318-2675-6

原田信之先生……第四回 説話・伝承学会賞 受賞!

祝
受賞!

『岡山県新見の伝説

一玄寶僧都・後醍醐天皇・金壳吉次・人柱』

原田信之著・A5判・232頁・2,640円・ISBN:978-4-8318-6284-6

ためし読み



法蔵館文庫

◆鎌倉仏教の中世

【日本史／中世史】

平 雅行著・文庫判・298頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2695-4

中世社会を貫く文化体系へと発展した顕密仏教を基軸に多様な角度から新たな鎌倉仏教像を描き出し、中世史像を再構築する意欲的論考。

■目次

- 第一章 鎌倉新仏教史観はなぜ破綻したか
- 第二章 中世人は神仏をどの程度信じていたのか
- 第三章 中世延暦寺をどのように捉えるか
- 第四章 道元禅は輸入仏教なのか
- 第五章 歴史にみる差別と仏教 ほか

ためし読み



◆「あて字」の日本語史

【日本語／日本史】

田島 優著・文庫判・328頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-2696-1

古代から現代まで、各時代の文献に出てくる多様な「あて字」を検証し、あて字が必要とされた状況や背景、日本語に与えた影響を詳解。

■目次

- [導入編]
- 1 ようこそあて字の世界へ
- 2 メディアのあて字を眺めてみれば
- 3 国語辞書ではあて字はどのように扱われているか

[歴史編]

- 1 異国のことばを書き写す(古代のあて字①) ほか

ためし読み



◆曠野から——アフリカで考える

【民族／思想】

川田順造著、柴田 翔・四方田彦彦解説・文庫判・328頁・1,430円
ISBN:978-4-8318-2697-8

西アフリカで出会ったサヴァンナに暮らす人々やとりまく環境を精緻な描写と豊かな表現で綴る。人類学の碩学の代表的エッセイを復刊!

■目次

- 雨 ある料理人の話
- 貧しさ 馬と車
- 声 歯・目・耳
- 王さま 黄金海岸 ほか
- 水

ためし読み



◆仁左衛門花実抄

【芸能】

宮辻政夫著・四六判・240頁・2,750円・ISBN:978-4-8318-5657-9

現代の名優、片岡仁左衛門の芸の型、その特徴とは。二枚目から色悪、神となる菅丞相まで、代表的な13役を通して、芸の核心に迫る。

■目次

- 序章 役への姿勢〈浮世又平、加古川本蔵〉
第一章 『仮名手本忠臣蔵』〈大星由良之助、加古川本蔵〉
第二章 『義経千本桜』
〈渡海屋銀平実は新中納言知盛、唯みの権太〉
第三章 関西歌舞伎の衰退と仁左衛門
第四章 『女殺油地獄』〈河内屋与兵衛〉
第五章 『菅原伝授手習鑑』〈菅丞相〉 ほか

ためし読み



◆ストレスに効く 仏教の話

【仏教】

本間大智著・四六判・152頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-2365-6

ストレスを減らす智慧がつまったブッダの教えを21世紀にヴァージョンアップ。親しみやすい題材からわかりやすく丁寧に説いた法話集。

■目次

- お坊さんになる方法
ブッダ弟の苦悩
アーナンダが悟れない
なっちゃん仏さまの世界へ
タイガーマスクの遺言
やり直す事ができたおかげで
人生で一番楽しかったことは ほか

ためし読み



◆統一教会・現役二世信者たちの声

【宗教】

——壁の向こうの言葉を聴く

瓜生 崇著・四六判・244頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-5729-3

高額献金や銃撃事件のその裏で、教団改革を望み声をあげてきた二世信者たちがいる。教団と世間との狭間で揺れる9人の声を収める。

■目次

- 第1章 壁の向こうの言葉
第2章 二世信者たちの声
第3章 統一教会は変わることができるのか
1. 小嶋希晶氏(「信者の人権を守る二世の会」代表)
2. 勅使河原秀行氏(家庭連合 教団改革推進本部長)
3. 山口広氏(弁護士・全国霊感商法対策弁護士連絡会代表世話人) ほか

ためし読み



◆近代仏教儀礼論序説

【仏教史／近代】

武井謙悟著・A5判・480頁・6,050円・ISBN:978-4-8318-5575-6

近代日本の仏教儀礼を主題とする本邦初の書。資料の博
捜と分析から仏教儀礼の近代的変容・展開の過程を辿り、
研究の基礎づけを試みる。

■目次

- 序 章 問題の所在
- 第一章 葬儀問題への対応
- 第二章 施餓鬼の諸相
- 第三章 開帳の変遷
- 第四章 授戒会の動向
- 第五章 禅会の普及 ほか

ためし読み



◆森岡清美の宗教社会学

【社会学／宗教】

——その検証と継承

大谷栄一・寺田喜朗編・四六判・348頁・3,520円
ISBN:978-4-8318-5728-6

日本宗教社会学の開拓者・森岡清美が遺した知的遺産の
数々に、後学はいかに向き合うべきか。宗教社会学の原点
を尋ねる意欲的試み。

■目次

- 第1章 森岡清美の〈真宗教団と「家」〉研究(大場あや)
- 第2章 森岡清美の神社研究(小島伸之)
- 第3章 森岡清美のキリスト教研究・再考(川又俊則)
- 第4章 森岡清美の先祖祭祀研究(問芝志保)
- 第5章 森岡清美の新宗教研究果と課題(寺田喜朗)

ためし読み



ほか

法蔵館重版案内

◆正信偈もの知り帳

15刷 【仏教／真宗】

野々村智剣著、仏教文化研究会編・四六判・107頁・850円
ISBN:978-4-8318-8963-8

誰もが知っている『正信偈』。でも、ほとんど知らないその中
味。『般若心経』とどう違う? からはじまり、『正信偈』を身近
にする。

■目次

- 「正信偈」『般若心経』どちらも「お経」?
- 浄土真宗では、なぜ『般若心経』をあげない?
- 「正信偈」の本籍は?
- ご本典・ご本書『教行信証』とは? ほか



法蔵館刊行予定案内

〈2025年6月 刊行予定〉

◆ひとりふたり・・——お盆を迎える

四衢 亮編・A5判・24頁・136円・ISBN:978-4-8318-1175-2

【仏教／真宗】

身近なことから真宗の教えにふれる聞法誌。人気連載多数で、わかりやすく面白、参考になる、気軽に読める、と好評です！

◆改訂 正倉院文書入門 法蔵館文庫

栄原永遠男著・文庫判・376頁・1,540円・ISBN:978-4-8318-2698-5

【日本史／史料】

正倉院文書の中心を占める写経所文書。複雑極まりないその構造や基本用語・調査ツールなど、基礎中の基礎の部分から研究活用の事例までを丁寧に解説した入門書の名作。

◆現代語訳 六要鈔 法蔵館文庫

柳瀬彰弘著・文庫判・424頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-2699-2

【仏教／真宗】

存覚『六要鈔』は、親鸞の主著『教行信証』を体系的に註釈した最初の書物であるが、円爾の『六要鈔会本』に準拠し、難解な『六要鈔』に現代語訳を試みた意欲的労作。

◆宙空に立つ塔——塔の想像力と存立地平 法蔵館文庫

本間邦雄著・文庫判・344頁・1,540円・ISBN:978-4-8318-2700-5

【哲学／評論】

なぜ人は「塔」に魅了されるのか。野間宏『わが塔はそこに立つ』の作品読解を横軸に、『往生要集』ダンテ『神曲地獄篇』『法華経』を縦軸とし、「塔」の表象批評を試みる。

◆目からウロコの仏教入門

【仏教】

ケネス・タナカ著・鴻野立明・菅原 建訳・四六判・294頁・予価2,200円・ISBN:978-4-8318-8802-0

アメリカ流儀で学ぶと、仏教はこんなに楽しくわかりやすい！ 海外で話題の入門書が、日本版として登場。Enjoy Buddhism！

◆八坂神社日誌 第一巻 祇園社務家日記(慶応四年〔明治元年〕) 社務所所日誌1(慶応四年〔明治元年〕～明治三年)

八坂神社文書編纂委員会編・A5判・270頁・9,900円・ISBN:978-4-8318-5351-6 【日本史／史料】

八坂神社の明治期の公的な記録『社務所日誌』を翻刻・刊行する新シリーズ。本巻は『祇園社務家日記』(慶応四年)と『社務所日誌』1(慶応四年～明治三年)を掲載。

◆評伝・富田^{こう じゅん}敦純

星野英紀著・四六判・128頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-5589-3

【仏教史／近代】

真言宗教団の近代化を実現すべく、その中枢で様々な事業に奔走した富田敦純。旺盛な出版活動や教育事業の展開など、教団開明派の旗頭としての姿を簡潔に描く。

法蔵館書店のおすすめ本

◆宗祖親鸞聖人著作集 二

——浄土文類聚鈔・愚禿鈔・入出二門偈頌文・浄土三経往生文類
如来二種廻向文

聖教編纂室編・A5判・274頁・4,400円〈東本願寺出版〉

宗祖親鸞聖人が撰述された漢文著作(『浄土文類聚鈔』『愚禿鈔』『入出二門偈頌文』『浄土三経往生文類』『如来二種廻向文』)の翻刻を収載。『真宗聖典 第二版』と照応しながら、原典に立ち返った学びを進めるための聞法テキストです。

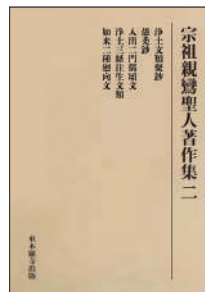
■目次

浄土文類聚鈔(東本願寺蔵本・光延寺蔵本・暦応三年延書本)

愚禿鈔(顕智書写本・存覚書写本)

入出二門偈頌文(真仏書写本)

入出二門偈頌(蓮如書写本・聖徳寺蔵本) ほか



◆増補改訂 本願寺史 第四巻

本願寺史料研究所編・A5判・905頁・8,800円〈本願寺出版社〉

親鸞聖人700回大遠忌の記念事業として企画・刊行された『本願寺史』を、親鸞聖人750回大遠忌を機縁として、より充実した形で再編集した改訂増補版。第四巻は、第23代勝如宗主が法統を継承した1933(昭和8)年頃から20世紀末頃までの本願寺教団の歩みを概説する。

■目次

第一章 戦時期本願寺のあゆみ

第二章 戦後本願寺のあゆみ

第三章 教団組織の改革

第四章 法式と法要

第五章 布教制度と教化団体

第六章 教団の国際伝道

第七章 教団と教育機関

第八章 教団の社会活動

ほか



◆無住と遁世僧の伝承世界

小林直樹著・A5判・500頁・13,200円〈塙書房〉

第一部「無住の伝承世界」、第二部「遁世僧の伝承世界」、第三部「武士と遁世僧の伝承世界」の三部にて、無住をはじめとする戒・定・慧のいわゆる三学を志向した遁世僧の著作を主要な対象とし、あわせて武家伝承の世界をも視界に収めながら、その豊かな伝承世界を多角的に分析する。

■目次

序説 無住と遁世僧の伝承世界

第一部 無住の伝承世界—学問・ネットワーク・時代思潮

第二部 遁世僧の伝承世界—禅律文化圏

第三部 武士と遁世僧の伝承世界—『吾妻鏡』の源氏將軍伝承

ほか



思文閣人文叢書

◆民衆仏教の形成と日本中世

上川通夫著・A5判・482頁・11,000円〈思文閣出版〉

民衆自身の生存と権力支配への抵抗を求める普遍的な思想が、仏教の用語や思想(慈悲、不殺生、和合など)と接することで表現された可能性を追求する。断片的ながら願文、起請文、村の禁制、地域の小規模寺院の存在などに史料的痕跡を見出し、民衆思想として萌芽した状況を浮かび上がらせる。

■目次

- 序 章 日本中世民衆仏教研究の課題
第一部 ユーラシア東辺列島における仏教導入
第一章 六、七世紀における仏書導入
第二章 古代仏教と最澄の一乗思想 ほか



◆近世仏教資料叢書——第三巻 国家を守護する仏神

末木文美士・引野亨輔監修、曾根原 理・W. J. ボート・M. M. E. バウンステルス編
A5判・282頁・19,800円〈臨川書店〉

江戸時代に出版された仏教書を中心として、重要資料をテーマ別に精選。原典翻刻・解説・解題を中心に構成する。個々の資料紹介にとどまらず、仏教と近世社会の関係性をも鮮明に浮かび上がらせることを企図した本叢書は、この時代の宗教文化の解明に新しい光を当てるものと期待される。

■目次

- 慈眼大師御物語 国立公文書館(内閣文庫)蔵
暁誉源栄覚書 国立公文書館(内閣文庫)蔵
供奉記 国立公文書館(内閣文庫)蔵
黒本尊縁起 佛教大学附属図書館蔵 ほか



◆鎌倉仏教革命——法然・道元・日蓮

橋爪大三郎著・四六判・384頁・4,400円〈サンガ新社〉

平安末期から鎌倉期にかけて、仏教の原理を掘り下げ、社会革命の火をつけた天才たちがいた。
農民を団結させ、日本人の精神をつくり変えた法然、道元、日蓮の知の格闘が世界的な文脈でよみがえる。

■目次

- | | |
|-------------|-----------------|
| 第1部 法然 | ■第5章 道元 |
| ■第1章 法然以前 | ■第6章 坐禅原則主義のゆくえ |
| ■第2章 法然 | 第3部 日蓮 |
| ■第3章 法然以後 | ■第7章 日蓮とは誰か |
| 第2部 道元 | ■第8章 日蓮のテキストを読む |
| ■第4章 禅とはなにか | ■第9章 ポスト仏教革命 ほか |



◆空の時代の『中論』について

清水高志著・四六判・521頁・3,960円(IAAB EDIT)

ナーガルジュナ『中論』全27章完全講義録。初期仏教と大乘仏教を結ぶ最大のミッシング・リンク『中論』をすべて読み解く!“私たちはどこから来て、どこへ行くのか?”

■目次

第一回大会 弥彦温泉みのや講義

『中論』第一章・第二章 講読(資料編／講義録)

第二回大会 越後長野温泉嵐溪荘講義

『中論』第三章から第一十六章講読(資料編／講義録)

第三回大会 蓬平温泉和泉屋講義

『中論』第十七章から第二十七章講読(資料編／講義録) ほか



◆中国撰述仏典研究の新展開——儒仏道三教の交渉

池平紀子著・A5判・436頁・7,700円(臨川書店)

中国思想史上に改めて疑経を問い直す—インド成立の体裁を取りながらも実際には中国で偽作された仏教経典=中国撰述仏典。南北朝～隋唐における在家信者の日常規範「戒」「応報」に関わる中国撰述仏典を取り上げ、儒教や道教、更には民間信仰との接点を探り、広く中国の民衆に受容・信仰された儒仏道三教の交渉の歴史を描き出す。

■目次

第一章 中国撰述仏典について

第二章 仏教と道教の交渉(その一、経典研究)

第三章 仏教と道教の交渉(その二、テーマ研究)

第四章 中国撰述仏典と伝統思想 ほか



◆ダライ・ラマの智慧

——幸せな生き方 満ち足りた死に方

ダライ・ラマ十四世 テンジン・ギャツォ著・四六判・263頁・1,980円(ハート出版)

「人生に疲れてしまった人」「進むべき道を見失った人」「悲観的に物事を考えてしまう人」「不安から解放されたい人」「どこか心が満たされない人」——悩める人生の指針となる一冊。日本初翻訳

■目次

第一章 幸せについて

第二章 仏教とは何か

第三章 仏教の基本的な教え

第四章 カルマの法則

第五章 心の変容

第六章 瞑想法

第七章 覚醒

第八章 心を修練する八つの教え

第九章 有意義な生と死

第十章 空を理解する

第十一章 普遍的な責任

第十二章 科学の岐路で



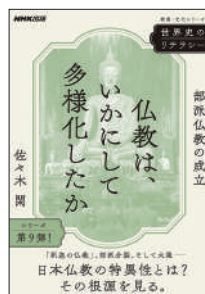
◆仏教は、いかにして多様化したか

佐々木 閑著・A5判・167頁・1,210円〈NHK出版〉

釈迦が説いた「自己鍛錬」のための仏教は、いつ、どのようにして部派に分裂し、その後、なぜ「衆生救済」を目的とする大乘仏教に変容したのか？そして、日本仏教が世界で最も「特異な仏教」とされる理由はどこにあるのか？科学にも通じる仏教学の碩学が自身の学説を軸に仏教界の大いなる謎に迫る。

■目次

- 第1章 仏教は、どのようにして部派に分裂したのか？
- 第2章 なぜ、インドで仏教が起こったのか？
- 第3章 大乘仏教は、どのようにして生まれたのか？
- 第4章 「時代の要請」によって変容した日本仏教



◆Q&Aお墓の?に答えます

蒲池勢至著・B6判・31頁・165円〈東本願寺出版〉

「お墓」っていつからあるのでしょうか？「お墓とお内仏（仏壇）には、どういう違いがあるのでしょうか？」など、お墓にまつわる素朴な疑問に、Q&A形式でわかりやすく答える！さらにコラム「真宗本廟と大谷祖廟」も収載した「お墓」がわかる小冊子。

■目次

- Q1 「お墓」って昔からあるものなのですか？
- Q2 方角など、気を付けた方がよいことはありますか？
- Q3 墓石に刻む言葉は何がよいですか？
- Q4 お墓への納骨はいつ頃がよいですか？
- Q5 納骨時に、お坊さんにお経を読んでもらうほうがよいですか？

ほか



◆Q&Aお葬式の?に答えます

門脇 健著・B6判・30頁・165円〈東本願寺出版〉

お葬式の簡略化が進み、形態も多様化する中、「お葬式の規模は？」「お通夜とお葬式の違いは？」「日取りを決めるとき気を付けたほうがよいことは？」といった基本的な内容からQ&A形式で答える形で、改めて葬儀をする意味を確かめる小冊子。その他、コラム「お釈迦さまの入涅槃」「親鸞聖人のお葬式」もオールカラーで紹介。

■目次

- Q1 そもそも、お葬式をする必要はありますか？
- Q2 お葬式の規模はどうしたらよいですか？
- Q3 お経を読むなどの儀礼には、どういう意味がありますか？
- Q4 お通夜とお葬式はどう違いますか？



◆ご宝号念誦——その成り立ちとところ

武内孝善著・四六判・266頁・3,300円〈春秋社〉

念仏、題目と並んで広く親しまれている「南無大師遍照金剛」。弘法大師の宝号を唱えることは、いつ・どこで・誰が・いかなる契機でもって始めたのか。新史料に基づき解明を試みた意欲作。

■目次

- 第一章 弘法大師の宝号「南無大師遍照金剛」
- 第二章 従来の説の検討
- 第三章 プレ宝号(一)——蓮待と十二字の宝号
- 第四章 プレ宝号(二)——覺鏝と十六字の宝号
- 第五章 大師宝号の史料(一)——四度加行作法書
- 第六章 大師宝号の史料(二)——大師所作・大師行法 ほか



◆一日一字で活潑に生きる 禅的生活 365日

玄侑宗久文・B6変判・383頁・1,980円〈誠文堂新光社〉

芥川賞作家であり禅僧でもある玄侑宗久氏が、「毎日の一文字」365字を選定しました。

その文字に込められた禅的・仏教的なものの考え方や見方などを、遊び心満載の文で解説。俳句もたくさん登場します。

■目次

- | | | |
|------------|-----|---------|
| 「二十四節気」早見表 | 水無月 | 6月の一文字 |
| 「七十二候」一覧 | 文月 | 7月の一文字 |
| 睦月 1月の一文字 | 葉月 | 8月の一文字 |
| 如月 2月の一文字 | 長月 | 9月の一文字 |
| 弥生 3月の一文字 | 神無月 | 10月の一文字 |
| 卯月 4月の一文字 | 霜月 | 11月の一文字 |
| 皐月 5月の一文字 | 師走 | 12月の一文字 |



◆1日1テーマ30日でわかる仏教

井上純道監修・A5判・135頁・1,595円〈文響社〉

教養として知っておきたい仏教のことが、これ1冊に凝縮！
専門用語を使わず易しい文章・豊富なイラストで入門に最適な1冊。1日1テーマ、30日間の教養習慣、始めませんか？

■目次

- 1日目 仏教において欠かせない根本の教え
- 2日目 仏教の開祖である仏陀の生涯
- 3日目 キリスト教、イスラム教と並ぶ世界三宗教の一つ
- 4日目 六道と浄土 仏教の世界観
- 5日目 数万種類を数える仏教の経典
- 6日目 アジア各地に広がった「上座部仏教」と「大乘仏教」 ほか



◆モノからみた宗教の世界

八木百合子編・A5判・301頁・3,850円(春風社)

産業化やグローバル化を背景に、日常のあらゆるモノが商品として大量に生産・消費されるなか、宗教的なモノの商品化もかつてないほど進んでいる。神々のイメージは、印刷物や彫像からデジタルメディアに置き換わり世界中に拡散・流通している——モノそのもの、モノと人との関係から、現代の宗教世界の実相を捉える論集。

■目次

- 第一部 モノ／イメージの複製と聖性
- 第二部 モノの蓄積と処理
- 第三部 モノと物質性の変化



◆関西の隠れキリシタン発見

——茨木山間部の信仰と遺物を追って

マルタン・ノゲラ・ラモス・平岡隆二編・四六判・251頁・2,860円(人文書院)

パリで発見された宣教師プレシの書簡。それは関西の隠れキリシタンの存在を伝える驚くべきものであった。幕末・近代期におけるキリスト教の再布教。宣教師たちの活動や「山のキリシタン」の子孫たちの生活とはどのようなものであったのか？九州だけではなく関西茨木キリシタンの全体像を明らかにする。*宣教師プレシの書簡を収録

■目次

- 第一章 茨木へのキリスト教伝来—その由来と展開(平岡隆二)
- 第二章 バリ外国宣教会の「古キリシタン」探索—マラン・プレシ神父の千提寺村発見を中心に(マルタン・ノゲラ・ラモス)
- 第三章 茨木キリシタン遺物からみる「発見」とその後(桑野梓)
- 第四章 大正期の文化・学術と茨木キリシタン遺物の発見(高木博志)



◆芸大の先生に教わる仏像の歴史

礪波恵昭著、真船きょうこイラスト・A5判・205頁・2,090円(淡交社)

時代を象徴する仏像をピックアップ、その作られた背景を解説するわかりやすい構成で、仏像の歴史の学びなおしに最適!京都市立芸術大学の人気講義を再現。カラー・高精細イラスト約50点収録。

■目次

- 第1章 飛鳥時代前期
- 第2章 飛鳥時代後期
- 第3章 奈良時代前期
- 第4章 奈良時代後期
- 第5章 平安時代前期
- 第6章 平安時代後期
- 第7章 鎌倉時代
- 第8章 南北朝～江戸時代・近代



◆差別禁止法の制定を求めて

——すべての人の無差別平等の実現

部落解放・人権研究所編・A5判・188頁・2,420円〈解放出版社〉

包括的な差別禁止法がなぜ必要か、被差別マイノリティの当事者をはじめ各方面からの提言をふまえて考える。法律(案)、やその特徴、差別禁止法に関するQ&Aを合わせて掲載。法制定の学びにあたっての必携の図書。

■目次

- 【第1部】 包括的差別禁止法はなぜ必要なのか
- 【第2部】 差別禁止法を求める当事者の声・各界からの声
- 【第3部】 「すべての人の無差別平等の実現に関する法律(案)」とは



◆宗教規制

——宗教虐待と政治の関係からみえる規制のありかた

宗教規制問題研究会編・四六判・219頁・2,200円〈総合教育出版〉

エホバの証人や旧統一教会の問題が顕在化し、宗教二世問題や宗教と政治の関係が大きな社会的課題となっている。本書では、戦前から新宗教がどう法的に扱われてきたのかを遡り確認し、宗教二世の問題はエホバの証人問題支援弁護団メンバー田畑弁護士のインタビューを含め、宗教虐待の規制状況をまとめ、社会として宗教虐待から子供を守っていけるかを説明する。

■目次

- 第1章 日本の宗教状況について(著:総合教育出版編集部)
- 第2章 日本の政教分離(著:総合教育出版編集部)
- 第3章 エホバの証人(著:総合教育出版編集部)
- 第4章 詳細解説(著:田畑淳) ほか



◆新訂 逐条解説

墓地、埋葬等に関する法律 第4版

生活衛生法規研究会監修・A5判・444頁・4,840円〈第一法規〉

「墓地、埋葬等に関する法律」について、条文ごとにわかりやすく解説。運用上の留意点を詳しく把握するための関係法令や関係通知、資料等を収録。通知索引は、法条ごとに関係する通知の掲載頁が確認できる。

■目次

- 第1章 総 則
- 第2章 埋葬、火葬及び改葬
- 第3章 墓地、納骨堂及び火葬場 ほか



◆哲学を愉しく学ぶ——哲学の授業法

藤野 寛著・四六判・154頁・2,200円〈晃洋書房〉

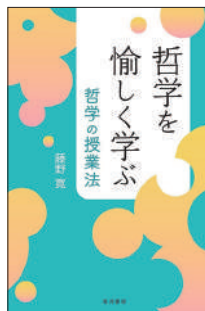
大学哲学科1年生の授業実践から育まれた、哲学者による日本初(?)の「哲学の授業法」!哲学は「わかる」ものではない、学ぶものだ。哲学することは学ぶことができるとカントも言っている。そして哲学することはとても楽しい。何しろ、それは哲学書との対話であり、哲学者と共に考えることなのだから。

■目次

第一部:受験勉強から脱却して、哲学へ

第二部:哲学という不思議な営み

第三部:哲学とその外部／内部



◆死して生きる哲学——西田哲学における他者・身体・超越

喜多源典著・A5判・180頁・2,750円〈晃洋書房〉

西田哲学研究における伝統的立場——仏教、とりわけ禅仏教に立脚した立場——とは異なる視座から、西田の中期における『無の自覚的限定』から最晩年の論文「場所的論理と宗教的世界観」に至るまでを中心的に考察。従来の立場とは異なる視座から西田哲学全体を捉え直す事に成功した画期的労作!

■目次

第1章 西田幾多郎の思索の出発点にあるもの

第2章 前期西田の思索的特徴

——「他者」「身体」「表現」「超越」の観点から

第3章 中期西田における「他者」と「超越」

第4章 中期西田における「身体」 ほか



講談社学術文庫 2862

◆死と生の民俗

田原開起著・文庫判・311頁・1,650円〈講談社〉

ひと昔前の、普通に生きた人々の中にある、ごくありふれた日常。そこには「死と生」にまつわる、さまざまなエピソードが共存していた——。近代化とともに「家」から死が遠ざかり、死への意識が希薄化した現代社会。明治から昭和初期の消えゆく風習を丹念に聞き取りながら、閉塞感ある今の社会の課題を解くヒントを掘り起こす。愚直で素朴で、とてつもなく豊かな、隠れた民俗学の名著、復刊!

■目次

第一部 明治末期から大正期の「死の民俗」

—地域の葬儀や野辺送りの行列、火葬場での体験から

第二部 明治末期から大正期の「生の民俗」 ほか



集英社新書 1246-C

◆捨てる生き方

小野龍光・香山リカ著・新書判・236頁・1,100円〈集英社〉

仏門をくぐった男と精神科医。自分自身の人生とは？ 師とは？ とらわれとは？ 利他とは？ 死とは？ あえて「捨てる」選択をしたふたりが語り合う、限られた人生を納得して生きるための思索的問答。

■目次

- 第一章 すべてを捨ててなぜ私は仏門をくぐったのか
- 第二章 あるがままに生きるということ
- 第三章 現代人をつらくしている執着や欲について
- 第四章 とらわれを捨てれば、けっこう楽に生きられる ほか



◆生まれる生きる生かされる

真宗大谷派学校連合会教科書編集委員会編著・A5判・141頁・1,100円〈東本願寺出版〉

真宗大谷派関係学校の中学宗教教科書として、仏教を「私を映し出す鏡」としていただき「ほんとうの自分に出会う」学びをすることを願いとして作成された本書。歴史上の人物や現代の著名人の言葉や生き方が紹介され、随所に出てくる「聞・問・開」という問いかけによって、それぞれのテーマについて考えることができる。お寺における学習会や輪読会のテキストとしても最適。

■目次

- 願い〜このテキストを使うにあたって〜
- 第1部「生まれる」
- 第2部「生きる」
- 第3部「生かされる」 ほか



真宗文庫

◆亡き方の声に耳を澄ませて

——僧侶(おぼうさん)30人のお彼岸のはなし

東本願寺出版編・文庫判・187頁・935円〈東本願寺出版〉

お墓参りやご法事をとおして、亡き人を近くに感じるお彼岸にこそ聞きたい、30人の僧侶による短編法話集。

■目次

- 生死するいのち…花園 彰
- 亡き人からのメッセージ…小丸洋子
- 形は減びても人は死なぬ…青木 玲
- 人生最後の一言…二階堂行壽
- 託されつつける心に触れる…島津和嘉子 ほか



物語でたどる仏教の世界 3

◆死んで生きる物語

山口辨清著・四六判・344頁・2,860円〈大法輪閣〉

懸命に生きる小さき者の働きに目を凝らし、「小事こそ大事のもと」と説くチベット民話など、多彩な仏教世界をみなさまにお届けする第三の物語集。

■目次

指鳥のしたこと—小事こそ大事のもと—
喜捨のころ—修道の苦心と工夫の物語—
死神の使い番
見るだけの目には見えぬもの ほか



◆季刊 せいてん no.150

浄土真宗本願寺派総合研究所編・B5判・66頁・770円〈本願寺出版社〉

「季刊せいてん」は、はじめて「浄土真宗聖典」を手にする方にも、わかりやすく学習・聞法していただくことができる味わい深い聖典学習誌です。

■目次

- 特集 特集 「地域からみる浄土真宗」
- はじめの一步1 日本の浄土教……梯 信暁(新)
- はじめの一步2 幸せってなんだろう
—悪人正機の倫理学—33……藤丸智雄
- 聖典セミナー『安心決定鈔』6……満井秀城
- せいてん流「字音」探訪 12……野村淳爾 ほか



法蔵館書店新着雑誌案内

◆同朋 5月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円

生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

- ◎巻頭インタビュー 小指(画家、漫画家、随筆家)
自分の内側の世界を守り、育て続けたい。
- ◎特集——私にとって意味のある哲学
- ◎連載
- 真宗と大拙と私／池田向一
- 唯信鈔文意を読む—唯念仏のころ／山田恵文
- 仏事作法のひとこま／近松 誉 ほか

◆大乘 5月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。

■目次

- ◎機言!お寺の掲示板……江田智昭
- ◎結婚してお坊さんになりました……前田純代
- ◎なるほど仏教ライフ……西原祐治
- ◎御文章をいただく……満井秀城 ほか

特集1 信仰心篤い人々「妙好人」

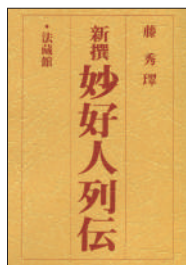
恥ずかしい話ですが私、当初「妙好人」は人の名前だと思ってました(汗)
「妙好人」とは、浄土真宗の教えを信奉する人々で、特に篤い信仰心を持つ人を指します。
因幡の源左(げんざ)さん・讃岐の庄松(しょうま)さん・石見の才市(さいち)さん等々有名な妙好人も……ユニークで光り輝くことばを多く残されています。興味のある方は是非!

◆大乘仏教がひらいた 妙好人の世界 **新刊**

菊藤明道著・A5判・416頁・4,950円
ISBN:978-4-8318-2356-4

妙好人を世界に知らしめた鈴木大拙をはじめ、柳宗悦、楠恭氏などの妙好人研究の軌跡を辿り、その霊性的世界と今日的意義を問う。
〈法蔵館〉

ためし読み



◆新撰 妙好人列伝

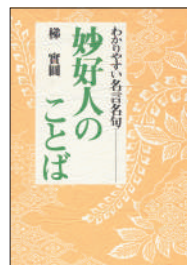
藤 秀璚著・四六判・283頁・3,520円・ISBN:978-4-8318-6530-4

鎌倉期から近代にいたる妙好人53人をえらんだ列伝。純粋な信仰感情を
つらぬいた「人中の白蓮華」たちに深い共感をこめて、一人一人の個性あ
ふれる人間像を活写する好著。
〈法蔵館〉

◆妙好人のことば

梯 實圓著・四六判・280頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-2313-7

ユニークなエピソードを織り込んで、読者を一気に妙好人の世界に誘う。
お軽、庄松、才市、清九郎他。
〈法蔵館〉



本願寺出版社新書シリーズ10

◆妙好人のことば——信心とその利益

白川晴頭著・新書判・149頁・770円

妙好人が信心をどのように受け止め、また信心が具わったならば一体ど
うなるのか? そのことを妙好人の姿にたずねる。
〈本願寺出版社〉

構築された仏教思想6

◆妙好人——日暮しの中にほとばしる真実

直林不退著・B6判・160頁・1,760円

市井に生きる浄土真宗の念仏行者「妙好人」とは、民衆にとっていかなる存在であったのか。信仰の究極のあり方を体現し、各時代に出現してきた「妙好人」。多角的かつ仔細な検討を加えてその実像を解明した、妙好人研究の到達点といえる一冊。浄土真宗史研究にも好適。〈佼成出版社〉



◆妙好人 因幡の源左

柳 宗悦・衣笠一省編・B6判・250頁・1,650円

鳥取の農家に生まれた源左が、真宗が培った信心の土壌の中に咲いた妙好華として仰がれた言行録。〈百華苑〉



◆妙好人因幡の源左——語録板画集

長谷川富三郎著・A5判・108頁・1,100円・ISBN:978-4-8318-8940-9

明治・大正時代を生きた妙好人・源左の法味溢れる四十八の言葉を集めた版画集。待望の復刊。〈法蔵館〉



◆才市同行——才市の生涯と周縁の人々

高木雪雄著・四六判・360頁・2,883円

才市同行の種々資料をさがし、才市同行の真実を顕わし、聞法一途の姿をより明らかにする。〈永田文昌堂〉



特集2 桜の季節が終わった 京都もいいもんです



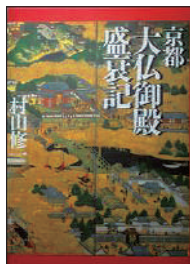
春爛漫、桜の京都は観光客でごった返してました。お花見に行っても人・ひと・ヒト! これではゆっくり京都を楽しめません。ゴールデンウィークが過ぎた今ごろが少しはゆっくり散策できるかもしれませんよ。京都の穴場に足を運んでみてください。

◆京都大仏御殿盛衰記

村山修一著・四六判・276頁・3,080円
ISBN:978-4-8318-7481-8〈法蔵館〉



皇室と縁の深い門跡寺院妙法院(大仏御殿)が所蔵する史料から見た日本史の裏表。方広寺の鐘銘事件、幕末動乱の真相など平安から幕末までの幅広い話題を読みやすく紹介。



◆京都古社に隠された歴史の謎

——知られざる古都の原像と信仰

古川順弘著・B6判・238頁・1,430円〈ウェッジ〉

平安京以前の京都には何があった!? ディープな視点で京都の神社と歴史の深層を探るユニークな歴史教養本。京都の古社に焦点をあて、その隠された魅力とともに、知られざる平安京以前の歴史的経緯を掘り下げ、豊富な写真とともに京都の深層に迫っていくもの。

◆京都あやかしタウン

——まちを歩けば妖怪にあたる

堤 邦彦監修・四六判・125頁・1,760円〈淡交社〉

妖怪が現代の京都で暮らす「もしも」の世界。京都の大学生考案の擬人化パロディと、怪談研究者による京都ゆかりの妖怪解説を収録。日常に妖怪が紛れ込む気配を、この本で疑似体験してみては。



◆京都を歩けば「仁丹」にあたる

——町名看板の迷宮案内

樺山 聡・京都仁丹楽會著・四六判・199頁・1,980円〈青幻舎〉

京都の街角に残る、「ヒゲの紳士」が描かれた「仁丹」の町名看板。この看板は京都市内でかつて1,000枚以上が確認されていたが、今や550枚にまで落ち込み、絶滅の危機に立たされている。

「仁丹」の謎に包まれた来歴を解き明かすとともに、この迷宮の奥にある時空散歩を楽しむ!

お知らせ

2025年度 中外日報「宗教文化講座」

法藏館書店
協賛・出店

テーマ:「いのちを育てる智慧に学ぶ——ネット時代を生きるために」

第2回:5月23日(金)「原点を見る」

善光寺大勧進(長野市) 貫主: 榎本寛照氏
(しんらん交流館・大谷ホール(JR京都駅中央口から北へ徒歩12分))

第3回:9月19日(金)「しあわせ眼鏡—仏教という人生の道しるべ」

真言宗須磨寺派大本山須磨寺(神戸市) 副住職・寺務長: 小池陽人氏
(京都テルサ・東館2階セミナー室(地下鉄烏丸線九条駅4番出口から西へ徒歩5分))

第4回:10月3日(金)「寺の未来」

臨済宗妙心寺派大本山妙心寺(京都市) 管長: 山川宗玄氏
(大本山妙心寺微妙殿(JR花園(京都府)駅[出口]徒歩12分))

※受講申し込み・お問い合わせ ⇒ 中外日報社 営業企画部(宗教文化講座事務局)

希望する講座、氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、
ハガキ、FAX、メールでお申し込みください。

●受講料は1講座1,000円(税込)

〒601-8004
京都府京都市南区東九条東山王町9番地
TEL:075-682-1625 FAX:075-682-1722
Eメール: sbk@chugainippoh.co.jp

「法藏館書店ニュース」は
2025年7月号で300号を迎えます。

予告

300号達成記念として
素敵なプレゼント

100号では
腕輪念珠と文の助茶屋さん提供甘味セット
200号では
法藏館書店で使えるクーポン券

試行錯誤中

300号は
「う～ん…なにがいいかなあ?」

◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(4月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	儀式作法の心得 [新改訂版]	真宗大谷派大阪教区 出版会議編	真宗大谷派 大阪教区	440円
2	顕浄土真実教行証文類「証文類」講讃	梯 實圓	本願寺出版社	4,620円
3	東西本願寺120のちがい	鎌田宗雲	永田文昌堂	3,300円
4	曾我量深—生涯—と思想	真宗大谷派 教学研究所編	東本願寺出版	1,980円
5	全編解説 浄土論註	菱木政晴	法藏館	13,200円
6	真宗聖典(第二版)(大判)	聖教編纂室編	東本願寺出版	4,950円
7	人間はなぜ争うことをやめられないのか	一案 真講述	真宗佛光寺派	250円
8	真宗大谷派 儀式軌範	儀式指導研究所編	東本願寺出版	3,850円
9	帰京後の親鸞—明日にともしびを11 八十四歳の親鸞—『西方指南抄』	今井雅晴	自照社	1,100円
10	『教行信証』全訳と註釈 上巻	長野量一	法藏館	3,300円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートに
お答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<https://pub.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、
メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料—550円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

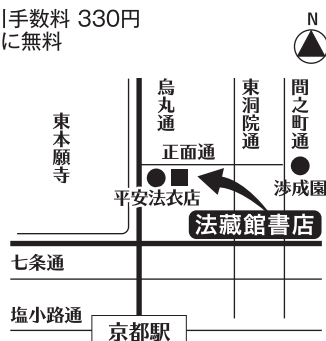
◆価格表示は全て税込価格です。

法藏館書店 友の会会員募集中!

友の会に入会すると、割引や来店特典など
多数の特典をご用意しております。

仏教書友の会 **検索**

法藏館書店
友の会
会員証



法藏館書店

住 所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
電 話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458
発行人: 西村明高
E-mail: shop@hozokan.co.jp

<https://pub.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



〔営業日および営業時間〕

月～土: 9:30～18:00

祝 日: 10:30～18:00

(休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!



facebook

つぶやき中～!